

| 基本目標 | 主要施策 | 項目 | 番号 | 評価会議における意見等 | 種別 | 回答（対応策）・コメント | 担当課等 | |
|-----------------|------|-------------|----|---|-----|--------------|--|-----|
| 評価・進行管理の見直しについて | | 評価の実施範囲 | 1 | 「評価の実施範囲」において、評価の合理化が検討されている点は適切な方向性だと思います。さらに、外部評価を毎年実施する必要があるのかというところまで踏み込んで合理化を検討してもよいのではないのでしょうか。例えば、5年の計画のうち第3年度終了後および最終年度終了後のみ外部評価を実施するのもよいと思います。第3年度の評価の時期がおそらく次期中期経営計画の検討時期に当たると思いますので、そこで、次の5年をどうすべきかという点についても外部の意見を聞くというのが適度なのではないかと考えます。 | B委員 | 提案 | 前計画の評価の際にいただいた御意見を踏まえまして、局内で議論した結果、評価の透明性やお客様への説明責任等の観点から、引き続き毎年度外部評価を実施したいと考えております。なお、毎年度の評価会議の開催にあたっては、さらに効率化を進めるとともに評価調書の記載方法の工夫等の対策を講じます。 | 事務局 |
| | | | 2 | 「施策・事業に関する『優先順位』や『選択と集中』などの総合的・戦略的な観点に立った運営（経営）そのものも評価対象とする。」との意見について具体的な対応策の記述がありません。対応策の提示をお願いいたします。 | D委員 | 提案 | 本計画には、計画期間内に水道事業として優先的に取り組むべき事業を位置づけております。特に、水道施設の更新・整備事業に関しましては、長期施設整備方針に基づき、重要度や老朽度等を踏まえて、優先順位をつけて計画的に推進していくとともに、東日本大震災で大きな被害を蒙った湾岸埋め立て地の管路の耐震化を優先的に進めることとしております。現時点においては『優先順位』や『選択と集中』を踏まえた事業体系となっておりますが、今後、状況の変化等により、『優先順位』や『選択と集中』をあらためて検討する必要がある場合には、毎年度の目標設定や評価の際に丁寧に説明するとともに、目標の変更や指標の追加等の対応を行います。 | 事務局 |
| | | 計画自体の評価・見直し | 3 | 「『運営基盤の強化』をどのようにうまく評価していくかを考えていくことは計画の変更につながっていくのではないか。」との意見について、7つの主要施策の達成度で計画全体の進捗評価を実施するとなっております。しかし、「運営基盤の強化」は7つの主要施策全体をマネジメントする位置にあるため、個別7施策の達成度や運営基盤強化の個別の取組のみならず、全体のマネジメント機能（経営管理機能）を評価する必要があると思います。 | D委員 | 提案 | 本計画から、計画全体を支える存在として、内部管理の取組を「運営基盤の強化」として独立させ、「基本目標1～3に位置づけた7つの主要施策の達成度」を成果指標として設定したところです。「運営基盤の強化」の評価に当たっては、上記の成果指標と併せて、経営分析等を活用することにより、事業の進捗状況とともに経営面からも計画の評価を実施いたします。 | 事務局 |